

記者発表資料

新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ
長岡市記者クラブ
上越記者クラブ
本紙投込みをもって解禁

令和3年2月25日

高田河川国道事務所
羽越河川国道事務所
長岡国道事務所
新潟国道事務所

事故ゼロプラン

〈事故危険区間重点解消作戦〉

新潟県版



令和2年度は事故危険区間 13区間の対策が完了

- 国土交通省では、平成22年から国土交通省が管理する新潟県内の国道を対象に、事故の危険性が高い区間を選定し「事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）」に位置付け、重点的・集中的に対策を行っているところです。
- この度、「令和2年度 道路安全性検討委員会」を開催し、事故危険区間について、**13区間の対策完了**、12区間の追加選定が承認されました。引き続き事故ゼロを目指して、残る181区間の対策を進めていきます。
- 平成22年の取り組み開始から、これまでに事故危険区間215区間の対策が完了したこと等により、**死傷事故件数が約65%減少**しました。
*県内直轄国道における死傷事故件数 平成22年 1,637件→令和元年 565件（約65%減少）

令和2年度末における事故危険区間

令和2年度末

181区間

=

令和元年度末

182区間

-

令和2年度
事故対策完了

13区間

+

令和2年度
追加選定

12区間

詳細はHPで！

事故危険区間マップや
事故対策例などを掲載。
アンケートも実施中！

新潟事故ゼロ

検索



https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/jikozero_enquete/

お問い合わせ先



国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所

調査課長 柴田 優作（しばた ゆうさく）（内線451）

みなみさぐち
新潟市中央区南笹口2-1-65
電話 025-244-2159（代表）

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/>
FAX 025-246-7763

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

『道路安全性検討委員会』とは

- 「道路安全性検討委員会」は、新潟県内における国土交通省が管理する国道の安全性について、県民や道路利用者と共通認識を図るためのプロセス及び要対策区間（リスト）の検討を行うこと等を目的としています。

道路安全性検討委員会 委員名簿（五十音順・敬称略）

上越教育大学大学院学校教育研究科 教授	あさ くら 浅倉 ゆう こ 有子
公益社団法人新潟県トラック協会 専務理事	あさ ま 浅間 ひろし 博
公益財団法人新潟県女性財団 顧問	おお しま 大島 く み こ 照美子
株式会社新潟日報社 編集局 総務	おお つか 大塚 せ い ち ろ う 清一郎
一般社団法人新潟県ハヤ・タクシー協会 専務理事	さ さ き 佐々木 の り ひ こ 紀彦
○ 長岡技術科学大学大学院工学研究科 教授	さ の 佐野 か ず し 可寸志
公益社団法人新潟県バス協会 専務理事	たか はし 高橋 せい きち 清吉
カミフル・サイクルステーション	たか はし 高橋 まさ よし 正良
有限会社ミカユニバーサルデザインオフィス	なか むら 中村 み か 美香

※ ○ ：委員長

※ この他、行政機関の関係者が委員となります。

- 今年度の委員会では、事故対策を実施した区間の効果検証や最新事故データ及びアンケート結果を踏まえた事故危険区間の選定等について、審議を行いました。

【令和2年度道路安全性検討委員会の開催概要】

日 時： 令和3年2月8日（月） 10時30分～

会 場： 新潟国道事務所 2階 大会議室（新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65）

※本委員会は、Web会議形式併用により開催しました。

内 容：（1）事故ゼロプランの取組状況
（2）今年度の検討事項（重大事故に関する分析について）
（3）生活道路の交通安全の確保に向けた取組 等

●事故対策完了区間の位置図 13区間

事故データに基づく選定区間 7区間

地域の声に基づく選定区間 6区間



●事故対策完了区間の事例

(1)事故データに基づく選定区間【国道7号 高浜入口交差点付近】

たかはまいるぐち

Plan

問題の把握と対策立案



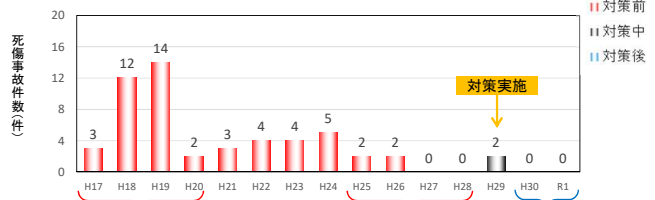
Check

効果の検証

<事故データによる評価>

- ・対策実施後、死傷事故は発生していない。
- (対策前(登録当初)7.75件/年→対策後0.00件/年 **(100%減少)**)
- ・対策後の事故データは「事故データに基づく選定条件」に**非該当**。
- ・卓越していた追突事故は**対策後発生していない**。

◆対策前後の事故件数 ※R1は暫定値



対策前(登録時)
平均7.75件/年

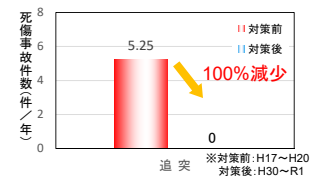
対策前(直近4年)
平均1.00件/年

対策後平均
0.00件/年

◆対策後の事故データ(代表区間)

事故件数 (件/年)	死傷事故率 (件/100台km)
0.00	0.0

◆卓越事故の事故件数変化



Action

進捗状況の判定

- 卓越していた追突事故をはじめ、当該区間の死傷事故件数が減少し、「事故データに基づく選定条件」にも該当しない。 ⇒**対策完了**

Do

対策実施(H29年)



(2)地域の声に基づく選定区間【国道7号 蛇ノ沢洞門～朝日トンネル】

じゃのさわ

あさひ

Plan

問題の把握と対策立案



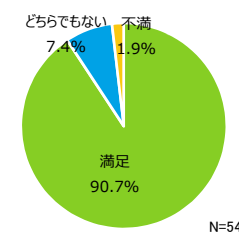
Check

効果の検証

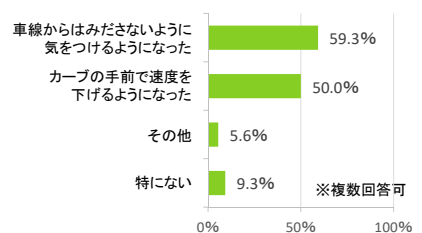
<道路利用者アンケート結果>

- ・道路利用者に対策の満足度をアンケートしたところ、**約9割**が満足と評価
- ・特に、車線逸脱に対しての注意力が向上している。

◆対策の満足度(R2)



◆対策後に感じたこと



<所轄警察の意見>

- ・工事完了後の状況について、所轄警察に確認し、対策後に大きな問題が生じていないことを確認。

◆所轄警察ヒアリング(R2.12月)



- ・対策後に大きな事故発生などの問題は確認されていないため、対策完了の判定で問題ないものと考えられる。

Action

進捗状況の判定

- 安全化事業が完了し、道路利用者や所轄警察からの評価により対策効果が認められた ⇒**対策完了**

Do

対策実施(R1年)



●追加選定区間の位置図 12区間

事故データに基づく選定区間 4区間

地域の声に基づく選定区間 8区間



●追加選定区間の事例

(1)事故データに基づく選定区間【国道8号 川崎西交差点】かわさきにし

○箇所概要

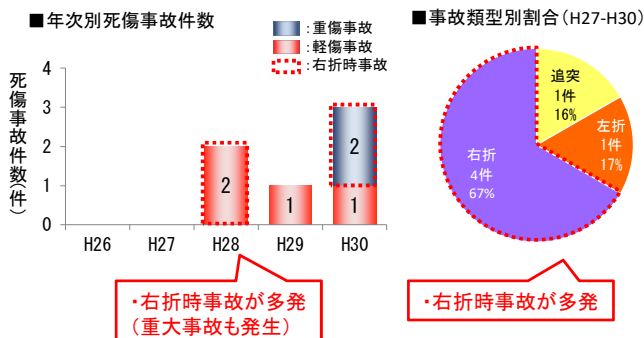
路線名	国道8号
箇所名	川崎西交差点
住所	長岡市川崎町

<H27~H30事故データ>

- ・死傷事故率
112.5件/億台km
- ・死傷事故件数
1.50件/年

※代表区間のデータ

<事故発生状況>

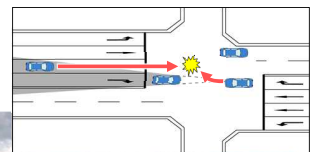


<位置図>

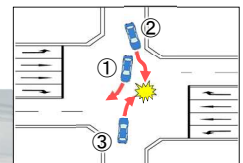


○現地状況

対向車が手前の車両の死角に入り見えづらく、対向車を見落とし衝突



右折車①の脇をすり抜ける後続車②と、対向右折車③とが衝突する危険あり



(2)地域の声に基づく選定区間【国道49号 茅野山東交差点】ちのやまひがし

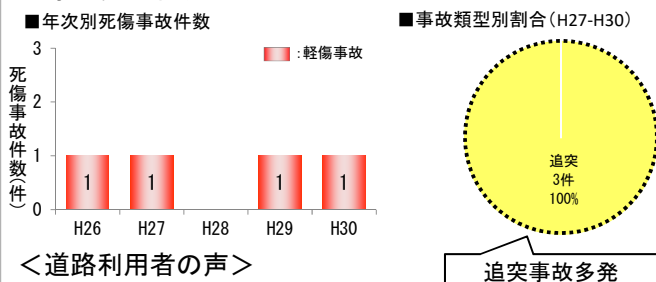
○箇所概要

路線名	国道49号
箇所名	茅野山東交差点
住所	新潟市江南区茅野山

<H27~H30事故データ>

- ・死傷事故率
59.1件/億台km
- ・死傷事故件数
0.75件/年

<事故発生状況>



<道路利用者の声>

■R2年道路利用者アンケートより



・朝や夕方は、今までも曙町から亀田体育館までの間で結構な渋滞になっている。
・交差点までの見通しが悪く、急ブレーキを踏む車や急な車線変更車両が多く非常に危ないと感じることが多い。

<位置図>



○現地状況



先詰まり渋滞発生



交差点手前で急な車線変更をする車両があり危険

至 阿賀野市